



2027年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年10月9日

東

上場会社名 株式会社スタジオアタオ

上場取引所

コード番号 3550

URL <https://www.studioatao.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 瀬尾 訓弘

問合せ先責任者（役職名） 取締役 管理部
ゼネラルマネージャー（氏名） 山口 敬之（TEL）03-6226-2772

半期報告書提出予定日 2026年10月9日 配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第2四半期（中間期）の業績（2026年3月1日～2026年8月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年2月期中間期	1,959	5.3	99	△7.0	104	△3.3	69	2.0
2026年2月期中間期	1,861	16.1	106	25.0	108	25.3	67	55.4
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2027年2月期中間期	4.99		—					
2026年2月期中間期	4.90		—					

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		％	
2027年2月期中間期	3,079		2,589		84.1	
2026年2月期	3,182		2,586		81.3	

（参考）自己資本 2027年2月期中間期 2,589百万円 2026年2月期 2,586百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2027年2月期	—	0.00			
2027年2月期（予想）			—	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年2月期の業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	4,500	9.1	330	37.9	335	37.8	220	45.2	15.89

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年2月期中間期	14,037,000株	2026年2月期	14,037,000株
② 期末自己株式数	2027年2月期中間期	178,596株	2026年2月期	184,796株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年2月期中間期	13,850,413株	2026年2月期中間期	13,842,965株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が見られる一方で、ウクライナ情勢の長期化、中東における緊張の高まりなど、不安定な国際情勢は継続するものと予想され、依然として先行きの不透明な状況と資材高騰による物価高が続いております。

このような環境の中、当社は、「ファッションにエンタテインメントを」を理念とし、オリジナルバッグ・財布等の提供を通じて「お客様に非日常のワクワク感を提供すること」を目指し、引き続き販売促進のための投資やSNS活動の強化等を行うとともに、ATAO18周年記念プロジェクトとして投入した「SAFARILAND」シリーズなど、幅広い層へ訴求できる商品ラインナップの拡充を図ることで、新規客や男性客の取込みに貢献しております。また、2026年にブランド設立20周年を迎えることに合わせて展開している限定アイテム「ブロックパーティー・キャンディミックス」シリーズ、「SAFARILANDクラシック・チェス」が好評を得ております。更に、基幹ブランドであるATAOのブランド価値の向上、顧客サービスの強化並びに売上及び利益の拡大を図るべく、2026年4月に「ATAOあべのハルカス店」をオープンいたしました。

IANNEブランドでは、2026年3月に「ILEMER TOKYO avec le IANNE」が拡張移転し、同月より展開を開始した「グラフィティシリーズ」のアパレル関連グッズが好調に推移しており、ブランド全体の底上げに貢献しております。

また、当社ブランドのオンラインサイトが集積したモール型の新ECサイト「ATAOLAND+（アタオランドプラス）」のほか、「ATAO楽天市場支店」、「アタオYahoo!店」をオープンしたことに伴い、店舗とECのOMOが強化された結果、広告効果の改善とともに全体の売上への好影響が出ております。引き続きプロモーション等を継続し、店舗とECのOMOの一層の推進や当社が展開する各ブランド価値の更なる向上、顧客サービスの強化等を図ってまいります。

ILEMERにつきましては、2025年11月より販売を開始したリトルツインスターズ 50周年を記念したコラボレーションアイテム、ILEMERブランド10周年限定ハッピードールが好評を得ており、ブランドの認知拡大にも貢献しております。加えて、2026年3月に旗艦店である「ILEMER TOKYO avec le IANNE」を日比谷シャンテ1階へと拡張移転オープンし、2026年4月に期間限定ショップ「ILEMER新宿店」を新宿マルイ本館にオープンいたしました。

その結果、当中間会計期間の販売業態別の売上高は、前期に大ヒットした「ブロックパーティー・シャングリラピンク」シリーズの反動減等があったもののプロモーションの強化等によりインターネット販売が951,215千円(前年同期比0.7%増)となり、また、ATAOあべのハルカス店及びILEMER新宿店の新規出店並びに移転店舗を含む既存店の売上増加等により店舗販売が1,006,700千円(同10.1%増)となりました。

以上により、当中間会計期間の業績は、売上高が1,959,114千円(前年同期比5.3%増)となり、プロモーションの強化や新規出店及び店舗移転等に伴う一時的な費用の発生等により、営業利益99,157千円(同7.0%減)、経常利益104,566千円(同3.3%減)、中間純利益69,155千円(同2.0%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間末の資産については、総資産は3,079,263千円であり、前事業年度末と比較して103,577千円減少しております。主な減少要因は、現金及び預金が228,494千円減少したことによるものです。

負債につきましては、負債合計は489,393千円であり、前事業年度末と比較して106,712千円減少しております。主な減少要因は、その他が79,223千円減少したことによるものです。

純資産は2,589,870千円であり、前事業年度末と比較して3,134千円増加しております。主な増加要因は、自己株式が2,444千円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物は、1,592,998千円となり前会計期間末より228,494千円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用したキャッシュ・フローは80,364千円(前年同中間期は102,082千円の獲得)となりました。これは主に、税引前中間純利益104,566千円の計上による資金の増加があった一方、棚卸資産の増加額187,368千円による資金の減少があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは79,898千円(前年同中間期比76,968千円の増加)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出72,693千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用したキャッシュ・フローは68,231千円(前年同中間期比120,156千円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払額による支出68,231千円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期の業績予想につきましては、2026年4月10日に公表いたしました業績予想から変更点はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年2月28日)	当中間会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,821,493	1,592,998
売掛金	325,685	211,278
商品	450,932	638,301
その他	71,381	78,667
流動資産合計	2,669,492	2,521,246
固定資産		
有形固定資産	176,950	222,831
無形固定資産	2,288	1,924
投資その他の資産	334,108	333,262
固定資産合計	513,348	558,017
資産合計	3,182,841	3,079,263
負債の部		
流動負債		
買掛金	103,923	86,587
未払法人税等	61,845	41,554
ポイント引当金	1,878	1,363
資産除去債務	1,500	3,000
その他	342,938	263,715
流動負債合計	512,086	396,220
固定負債		
退職給付引当金	34,998	36,389
資産除去債務	49,021	56,783
固定負債合計	84,019	93,173
負債合計	596,105	489,393

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年2月28日)	当中間会計期間 (2026年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	398,961	398,961
資本剰余金	396,622	397,418
利益剰余金	1,822,696	1,822,591
自己株式	△31,545	△29,101
株主資本合計	2,586,735	2,589,870
純資産合計	2,586,735	2,589,870
負債純資産合計	3,182,841	3,079,263

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
売上高	1,861,209	1,959,114
売上原価	576,207	577,775
売上総利益	1,285,001	1,381,339
販売費及び一般管理費		
販売促進費	427,965	384,500
その他	750,375	897,681
販売費及び一般管理費合計	1,178,340	1,282,182
営業利益	106,661	99,157
営業外収益		
受取利息	1,711	4,248
受取家賃	240	240
受取保険金	—	874
未払配当金除斥益	49	44
その他	7	2
営業外収益合計	2,009	5,409
営業外費用		
支払利息	553	—
営業外費用合計	553	—
経常利益	108,116	104,566
税引前中間純利益	108,116	104,566
法人税、住民税及び事業税	43,605	34,303
法人税等調整額	△3,265	1,107
法人税等合計	40,340	35,411
中間純利益	67,776	69,155

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	108,116	104,566
減価償却費	25,706	26,371
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,755	1,391
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△673	△515
支払利息	553	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△93,764	114,407
仕入債務の増減額 (△は減少)	14,047	△16,325
棚卸資産の増減額 (△は増加)	68,804	△187,368
未払金の増減額 (△は減少)	△2,937	△86,600
その他の資産の増減額 (△は増加)	42,640	17,144
その他の負債の増減額 (△は減少)	6,211	612
その他	△1,405	△4,089
小計	171,054	△30,406
利息及び配当金の受取額	1,713	3,887
利息の支払額	△553	—
法人税等の支払額	△70,131	△53,845
営業活動によるキャッシュ・フロー	102,082	△80,364
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,220	△72,693
無形固定資産の取得による支出	△154	—
差入保証金の差入による支出	—	△21,024
資産除去債務の履行による支出	—	△980
その他	△1,556	14,798
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,930	△79,898
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△119,166	—
配当金の支払額	△69,221	△68,231
財務活動によるキャッシュ・フロー	△188,387	△68,231
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△89,235	△228,494
現金及び現金同等物の期首残高	1,832,953	1,821,493
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,743,718	1,592,998

（4）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

I 前中間会計期間（自 2025年3月1日 至 2025年8月31日）

当社の事業セグメントは、ファッションブランドビジネス事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間会計期間（自 2026年3月1日 至 2026年8月31日）

当社の事業セグメントは、ファッションブランドビジネス事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。